



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 サンヨーホームズ株式会社
 コード番号 1420 URL <https://www.sanyohomes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 久志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福井 江治 TEL 06-6578-3403
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,475	48.4	79	—	47	—	17	—
2025年3月期第1四半期	7,059	2.9	△582	—	△593	—	△417	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 16百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △419百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	1.59	—
2025年3月期第1四半期	△37.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	49,130	15,039	30.6	1,342.15
2025年3月期	50,553	15,321	30.3	1,367.23

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 15,039百万円 2025年3月期 15,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	34.0	2,000	109.2	1,800	54.1	1,200	78.3	107.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	12,620,000株	2025年3月期	12,620,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,414,086株	2025年3月期	1,414,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	11,205,914株	2025年3月期1Q	11,134,614株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2026年3月期1Q 694,345株、2025年3月期694,345株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期1Q 694,345株、2025年3月期1Q 765,645株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善は続いており、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかし、各種物価の上昇による個人消費減少、金利の上昇傾向、米国の追加関税政策の動向、中東やウクライナ等の地政学リスクの高まり等、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましても、2025年7月1日発表の路線価は、標準宅地の全国平均における上昇幅が前年比2.7%となり、住宅価格の上昇、人手不足、労務費の上昇傾向等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは2025年4月1日より「建築本部」を新設し技術・商品開発と製造の一体化を図るとともに建築現場との連携強化を図りました。また従業員の雇用環境の改善を目的として、次世代育成支援対策推進法に基づく従業員が仕事と家庭を両立しやすい職場づくりの取り組みを行い、厚生大臣が認定する子育てサポート企業である「くるみん認定」を取得いたしました。また環境意識を育む取り組みとして、「人と地球がよろこぶ住まい」をテーマとした今回で22回目となる子どもECO絵画コンクールを実施しております。

当第1四半期は、マンション事業において計画の前倒しにより前年同期比より大幅な増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高10,475百万円（前年同期比48.4%増）、営業利益79百万円（前年同期比661百万円改善）、経常利益47百万円（前年同期比641百万円改善）、親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円（前年同期比435百万円改善）となりました。

当社グループの業績は、住宅事業およびマンション事業において、引渡し時期を顧客の要望に対応していることや、マンションの竣工引渡し時期の影響により、売上の計上時期が第2四半期と第4四半期に集中するといった季節の変動があり、当年度においては第4四半期に集中する見込みであります。

(セグメント別の概況)

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

戸建住宅におきましては、「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2024」において「特別優秀賞」を受賞し、10年連続の受賞となりました。また土地を所有されていない個人様への提案強化として、建築条件付き宅地分譲「スマエタウン」の販売にも努めてまいります。なお、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）比率については、当第1四半期連結会計期間においては95%（前年同期94%）となりました。

不動産ソリューションにおきましては、ペット共生型賃貸住宅（コンセプト型賃貸住宅）の販売を開始し、オーナー様・ペット・入居者様、みんなが幸せになれる賃貸住宅を提供してまいります。また軽量鉄骨工法による大型施設（介護施設、医療モール、社宅、商業施設）の受注にも引き続き注力してまいります。なお、ZEH対応不可のガレージハウスを除くZEH比率は、当第1四半期連結会計期間は90%（前年同期100%）となりました。

リフォームにおきましては、戸建住宅、マンションのみならず、店舗、事業用施設等まで幅広く、最適なりフォーム提案を行うことにより引き続き受注拡大を図ってまいります。

リニューアル流通(既存住宅流通)におきましては、物件探しから建物診断、耐震補強、一体型ローン提案、そしてアフターサービスまでのワンストップサポートを行う、中古住宅リノベーションサービス『サン住まいリング』を活用し、既存住宅を循環させる、環境に優しい住まい方のご提案を推進してまいります。

フロンティア事業におきましては、子会社のサンヨーアーキテック株式会社が太陽光発電や蓄電池等のエコ・エネルギー設備と鉄骨構造躯体の販売や施工等を担っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、売上高3,987百万円（前年同期比4.5%減）、営業損失403百万円（前年同期比121百万円悪化）となりました。

マンション事業におきましては、2025年6月に中電不動産株式会社との共同事業物件である「グランクレアいいねタウン瑞穂」（名古屋市瑞穂区 135戸）が竣工し引渡となりました。また売上計画の前倒し物件の売上計上があり、売上高、営業利益については前年同期比にて大幅な増収増益となりました。当年度におきましては第2四半期において新規竣工物件はなく、今後の竣工物件「サンメゾン千種公園東」（名古屋市千種区：27戸）、「サンメゾン大阪此花」（大阪市此花区：39戸）等および既存物件の販売や、竣工等に注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、売上高5,248百万円（前年同期比194.2%増）、営業利益753百万円（前年同期比775百万円改善）となりました。

ライフサポート事業におきましては、マンション管理、介護・保育・学童保育施設運営、寄り添いロボットの開発・販売等の生活支援サービスや地方創生を担っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のその他事業の業績は、売上高1,239百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益4百万円（前年同期比53百万円改善）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は49,130百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,423百万円の減少となりました。主な要因は、仕掛販売用不動産1,281百万円の増加、現金及び預金2,256百万円、販売用不動産715百万円の減少等によるものです。

負債総額は34,090百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,142百万円の減少となりました。主な要因は、前受金969百万円、未成工事受入金294百万円、その他(預り金)2,428百万円の増加、電子記録債務1,315百万円、工事未払金等3,228百万円の減少等によるものです。

純資産総額は15,039百万円となり、前連結会計年度末と比較し281百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金279百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,432,054	8,175,212
受取手形・完成工事未収入金等	1,877,077	1,881,737
販売用不動産	10,336,898	9,621,281
仕掛販売用不動産	21,486,976	22,768,312
未成工事支出金	117,219	180,612
その他の棚卸資産	196,988	199,928
前払費用	271,398	394,660
その他	574,368	713,085
貸倒引当金	△1,579	△1,851
流動資産合計	45,291,402	43,932,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,977,058	1,941,803
土地	1,065,888	1,050,680
その他(純額)	43,296	42,029
有形固定資産合計	3,086,243	3,034,513
無形固定資産		
ソフトウェア	56,813	52,448
その他	3,932	3,932
無形固定資産合計	60,746	56,381
投資その他の資産		
投資有価証券	30,140	30,140
繰延税金資産	732,236	720,128
その他	1,367,538	1,370,918
貸倒引当金	△15,067	△15,007
投資その他の資産合計	2,114,847	2,106,179
固定資産合計	5,261,838	5,197,073
資産合計	50,553,241	49,130,053

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	1,742,175	427,119
工事未払金等	6,202,066	2,973,990
短期借入金	3,690,000	3,950,000
1年内返済予定の長期借入金	4,604,000	6,046,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払費用	536,169	551,796
未払法人税等	243,409	33,184
未成工事受入金	3,744,595	4,039,268
前受金	684,243	1,653,623
賞与引当金	367,596	163,961
株式給付引当金	60,320	60,320
完成工事補償引当金	66,600	68,800
その他	1,275,172	3,637,461
流動負債合計	23,316,348	23,705,525
固定負債		
長期借入金	9,913,000	8,390,000
社債	100,000	100,000
繰延税金負債	5,990	11,624
役員株式給付引当金	213,173	221,349
役員退職慰労引当金	6,350	6,775
退職給付に係る負債	1,271,229	1,249,725
その他	406,052	405,071
固定負債合計	11,915,796	10,384,547
負債合計	35,232,144	34,090,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,945,162	5,945,162
資本剰余金	3,612,399	3,612,399
利益剰余金	6,770,994	6,491,315
自己株式	△978,485	△978,485
株主資本合計	15,350,070	15,070,391
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△28,974	△30,411
その他の包括利益累計額合計	△28,974	△30,411
純資産合計	15,321,096	15,039,980
負債純資産合計	50,553,241	49,130,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	7,059,204	10,475,576
売上原価	5,635,118	8,213,091
売上総利益	1,424,085	2,262,484
販売費及び一般管理費	2,006,123	2,183,119
営業利益又は営業損失(△)	△582,037	79,365
営業外収益		
受取利息	960	747
受取賃貸料	12,081	12,006
その他	13,191	19,861
営業外収益合計	26,232	32,616
営業外費用		
支払利息	32,199	57,748
その他	5,530	6,739
営業外費用合計	37,730	64,488
経常利益又は経常損失(△)	△593,535	47,493
特別利益		
固定資産売却益	—	2,932
特別利益合計	—	2,932
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△593,535	50,425
法人税、住民税及び事業税	7,477	14,196
法人税等調整額	△183,074	18,401
法人税等合計	△175,597	32,598
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△417,937	17,827
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△417,937	17,827

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△417,937	17,827
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1,485	△1,436
その他の包括利益合計	△1,485	△1,436
四半期包括利益	△419,423	16,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△419,423	16,391
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	37,187千円	35,926千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	885,764	151,794	1,037,558	—	1,037,558	—	1,037,558
中部	1,025,539	281,139	1,306,679	—	1,306,679	—	1,306,679
近畿	1,270,559	1,079,131	2,349,691	—	2,349,691	—	2,349,691
九州	652,529	236,231	888,760	—	888,760	—	888,760
その他(区分外)	287,566	—	287,566	1,086,865	1,374,432	—	1,374,432
顧客との契約から生じる 収益	4,121,959	1,748,296	5,870,256	1,086,865	6,957,121	—	6,957,121
その他の収益	51,783	35,856	87,640	14,441	102,082	—	102,082
外部顧客への売上高	4,173,743	1,784,153	5,957,896	1,101,307	7,059,204	—	7,059,204
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14,140	540	14,680	2,981	17,661	△17,661	—
計	4,187,883	1,784,693	5,972,577	1,104,289	7,076,866	△17,661	7,059,204
セグメント損失(△)	△281,649	△22,189	△303,838	△48,697	△352,536	△229,501	△582,037

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失の調整額△229,501千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	1,392,769	60,210	1,452,980	—	1,452,980	—	1,452,980
中部	376,812	2,038,572	2,415,385	—	2,415,385	—	2,415,385
近畿	1,431,484	1,300,521	2,732,006	—	2,732,006	—	2,732,006
九州	420,581	1,810,406	2,230,987	—	2,230,987	—	2,230,987
その他(区分外)	324,443	—	324,443	1,219,582	1,544,025	—	1,544,025
顧客との契約から生じる 収益	3,946,091	5,209,711	9,155,803	1,219,582	10,375,385	—	10,375,385
その他の収益	41,265	38,728	79,993	20,197	100,190	—	100,190
外部顧客への売上高	3,987,356	5,248,440	9,235,796	1,239,779	10,475,576	—	10,475,576
セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,625	540	11,165	2,126	13,292	△13,292	—
計	3,997,981	5,248,980	9,246,962	1,241,906	10,488,868	△13,292	10,475,576
セグメント利益又は損失 (△)	△403,380	753,546	350,165	4,955	355,121	△275,755	79,365

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△275,755千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

当第1四半期連結累計期間における受注高、売上高、受注残高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

①受注高

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	4,418,748	112.2
マンション事業	9,370,189	232.7
その他	1,239,779	112.6
合計	15,028,718	165.8

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。(単位：千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
6,497,686	1,605,594	4,407,791	2,517,646	15,028,718

②売上高

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	3,987,356	95.5
マンション事業	5,248,440	294.2
その他	1,239,779	112.6
合計	10,475,576	148.4

- (注) セグメント間取引については相殺消去しております。

③受注残高

セグメントの名称	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	13,122,618	109.2
マンション事業	16,319,213	121.5
合計	29,441,832	115.7

- (注) 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。